

太陽の恵みに
SUN キュー！



NPO 法人こだいらソーラー

これまでの活動(2012年4月～2014年7月)

2012年

- 4月 任意団体こだいらソーラー発足
- 8月 映画「シェーナウの想い」上映会開催
- 9月 小平市環境フェスティバル出展参加
- 10月 小平市元気村NPOフェスティバル出展参加
- 10月 NPO法人化めざし、設立総会
- 12月 こだいらソーラー市民発電所第一号設備発注

2013年

- 2月 NPO法人取得
- 2月 設立記念フォーラム開催
- 3月 こだいらソーラー市民発電所第一号点灯式
- 9月 小平市環境フェスティバル出展参加
- 9月 学園中央通り商店街環境・防災フェア参加
- 10月 小平市中央公民館サークルフェア参加
- 11月 第一号見学会開催

2014年

- 2月 総会、1周年記念フォーラム開催
- 2月 市民電力連絡会運営委員会メンバー
- 2月 第一号見学会開催
- 6月 NPOボランティアセミナー参加
- 7月 太陽光発電入門セミナー開催

NPO法人こだいらソーラーに あなたも参加しませんか

- * 地域にクリーンな再生可能エネルギーを増やしたい！
- * 地域でつくったエネルギーを地域で使う、エネルギーの地産地消を実現したい！
- * 原発に依存しないエネルギーで暮らしたい！
- * 地球温暖化を食い止めたい！
- * ソーラー市民発電所をつくりたい！

同じ思いの仲間が集い、「こだいらソーラー」が発足しました。市民がお金を出し合って地域の中で太陽光発電所を作っていくことは、自分たちが使うエネルギーのことを考えること。自前の身近な発電所を持つことは、市民がライフスタイルを見直すこと。地域発、市民発のエネルギーシフトに向けて、さらに多くの市民に呼びかけ、ソーラー市民発電所を増やしていきたい。ぜひ一緒に。

会員募集中！

- 正会員 年会費 2,000円
(総会の議決権を有します)
- 一般会員 年会費 500円
(活動情報を配信、活動に参加することができます)
- 賛助会員 一口 10,000円
(主旨に賛同し、協力します)

屋根を貸してくださる協力者 募集中

<連絡・問合せ>

市民共同発電所

NPO法人こだいらソーラー

〒187-0002 東京都小平市花小金井 5-55-14

電話 042-467-2861

FAX 042-467-2951

メール kodaira.solar@gmail.com



太陽の光は、あまねく世界に降り注ぐ自然の恵みです。豊富な太陽エネルギーを燃料とする太陽光発電は、誰もがトライすることができ、さまざまな魅力と可能性にあふれています。省エネと創エネで“あなたならではの”のエコロジーな暮らしをはじめてみませんか。

太陽の恵みに
SUN キュー！



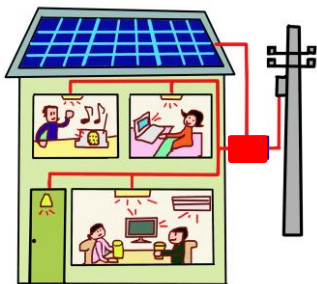
NPO 法人こだいらソーラー

<http://Kodairasolar.wordpress.com/>

太陽光発電って？

■クリーンな電気

発電の際に二酸化炭素(CO₂)やSO_x(硫黄酸化物)、NO_x(窒素酸化物)、放射性廃棄物などの環境汚染物質を発生させません。



■枯渴しない・偏在しないエネルギー

どこにでもある、無尽蔵なエネルギー源です。空に太陽がある限り、電気をつくることができます。石油や石炭などの化石燃料は、いずれなくなってしまうもの。しかも国内ではまかなうことはできません。

■設置場所を選ばない

おひさまがあたる場所であれば、どこにでも設置できます。広さに合わせて自由に規模を決めることができます。騒音や排出物もありません。

■非常用電源として活用が可能

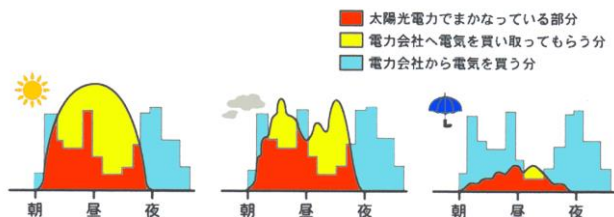
停電のときに自立運転に切り替えることによって発電した電気を使用することができます。

■まだまだあるメリット

- ・ 構造的にシンプルで、故障が少なく、システムの寿命も比較的長い。
- ・ 電力需要のピークカット効果が期待でき、過剰な発電設置の建設を抑制できる。
- ・ 小規模分散型発電なので、エネルギーの地産地消が実現できる。

●デメリット

発電量が天候に左右される。雨の日や夜に利用するためには、さらに蓄電設備の設置が必要。

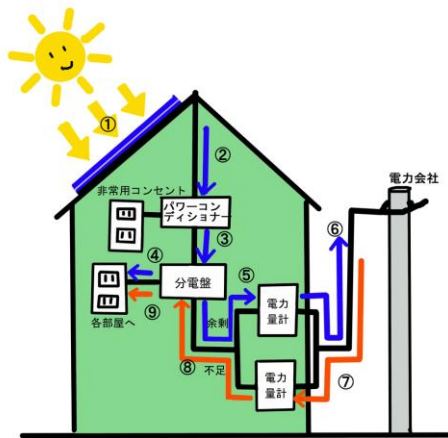


発電した電気はどうなるの？

太陽光発電を設置した戸建住宅も、市民共同発電所も、電力会社と系統連系契約を結ぶことになります。図のような剰余連系の場合は、同じ電線を使って電気を売ったり買ったりすることになります。売ったり買ったりの電気のやり取りは自動的に行われるので、日常の操作は一切不要です。

電力会社への売電用の電力量計(メーター)を取り付けます。買電のメーターと売電メーターの二つのメーターが並ぶことになります。

10kw 以上の太陽光発電所では、自家消費を行わずに全量売電することも可能です。(2012年7月より)



①太陽の光が太陽電池にあたります。②発電された直流電流がパワーコンディショナーに送られます。③パワーコンディショナーで直流が交流 100V に変換されます。④分電盤から各部屋へ電気が送られます。(自家消費)⑤⑥余った電気は、売電用の電力量計(メーター)を通して、電力会社の電線に送られ、売電されます。家に電気を供給している電線を逆に電気が流れていきます。(逆潮流)⑦⑧⑨雨の日や夜、これまで通り電力会社から電気を買います。

地域で市民が創エネ！

「こだいらソーラー市民発電所第一号」発電始まる



市民がお金と力を合わせてつくった 12kw の小さな太陽光発電所が、小平市学園西町に完成しました。2013年3月2日、点灯式が行われました。一橋大学小平キャンパスの西隣り、ウエストタウンビルの外階段の壁には、さんさんと降り注ぐおひさまをイメージした素敵な市民発電所の看板がかけられました。発電する電気は、東京電力に売電されますが、地域の配電網に繋がっており、地域に供給されている電気に混じって近隣の皆さんに使っていただくことになります。また、災害時には、非常用の電源としても地域の皆さんに活用いただくことができます。



太陽の恵みに SUN キュー！

